



市民クラブ
柴田 文男
議員

再任用制度の導入方針について

質問 国の方針に従い各自治体で導入が検討されている。本市における導入の是非と民間に再就職する場合の年齢制限について伺う。

答弁 現行の制度を基本に導入を前提として検討しています。今後、再任用職員の処遇や配置、定数の問題などについて更に検討を進めたいと考えています。民間への再就職については、市民の誤解を招かないよう、適切に対応していきます。

直下型地震対策について

質問 確率が低いとはいえども安心はできない。本市を含む増毛山地東縁断層帯の地震発生確率は。

答弁 同断層帯の今後30年以内のマグニチュード7・8程度の地震発生確率は0・6%以下ですが、阪神淡路や新潟中越の大地震は同断層帯と同程度の発生確率であったことから、今後とも防災対策を

しっかりと進めていきます。

中心市街地の活性化について

質問 二核一軸の一翼を担う駅前再開発ビルの現状と今後の見通しについて伺う。

答弁 株式譲渡による登記の変更手続きは終了したようですが、市に対して未だ新たな経営陣からの話はなく、注視していくしかないのが現状です。たきかわホールは市が区分所有していることから、今後、ビルからの提案について十分協議を進めていきたいと考えています。

総合福祉センターの機能確保について

質問 総合福祉センターの廃止について、一部の機能は都市機能として中心市街地周辺に必要ではないか。

答弁 教育委員会としても、生涯学習の中核機能は街なかにとの思いはあります。一方で公共施設全体のあり方を市役所内部で検討しており、財政問題もありますが、しっかりと生涯学習機能の確保に努めたいと考えています。



新政会
関藤 龍也
議員

人口減と高齢化について

質問 人口減少への対応と高齢者が暮らしやすい都市づくりをどのように進めるのか見解を伺う。

答弁 少子高齢化に対応しながら、まちの活力を維持し、発展できるようにまちづくりを進めるため、総合計画や都市計画マスタープランに基づき、コンパクトシティの実現等を目指します。また、人口減対策としての外国人労働者の受け入れについては、今後視野に入るべき検討課題であると考えます。このまま地域の衰退を招かないよう、少しでも人口減少に歯止めをかけ、広域的連携を図りながら魅力あるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

観光行政について

質問 本市の観光行政の課題は何か伺う。

答弁 本市の観光施策の課題は、日帰り客中心の通過型観光から宿

泊客を増やし着地型観光へいかに転換していくかで、それには滝川の観光資源をいかに見出すかが必要で、他市町村の観光と組み合わせ、宿泊は滝川市内へという形を作りたいと考えています。7月には「観光戦略会議」を観光協会で立ち上げ、宿泊客誘致など地域経済への波及、拡大を考えています。

道徳教育について

質問 道徳教育の教科化について考えを伺う。

答弁 現在、道徳教育は「道徳の時間を要として学校教育活動全体を通じて行うもの」としており、教科化については、その位置付けの検討や評価に関する考え方、指導者の研修の充実等多くの課題があると考えられます。

質問 道徳教育の評価方法についての考えを伺う。

答弁 道徳教育は、教師が児童生徒の人としての成長を見守り、それを勇気づける働きを持つもので、教師と児童生徒の人的ふれあいや共感的な理解から行われることが大切で、現在は数値などによる評価は行わないものとしています。